

災害による被害
をなくすために

台風災害に備える



平成23年5月28日から29日にかけて、沖縄地方を襲った台風第2号は、県内各地に甚大な被害をもたらしました。

八重瀬町内においても、特にトタンの飛散による車両の破損などの被害報告が多数報告されました。

強風で飛ばされたトタンは非常に危険です。また飛散したトタンが電線にかかると断線、電柱の倒壊の原因になりますので、堅固に固定しておきましょう。

①台風が来る前に

- 強風や飛散物によって、窓ガラスが割れたときのガラスの飛散を防ぐために布テープなどを貼り、カーテンやブラインドを下ろす。必要ならば外から板を打ち付けて補強する。
- 風で飛ばされそうなもの(トタン、鉢植え、ゴミ箱、物干し竿など)はしっかり固定、収納しておく。
- 大雨による家屋への浸水を防ぐため、周囲の側溝や排水溝を掃除して水はけを良くしておく。
- 停電や断水、ケガに備えるため、懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池、飲料水、食料品、救急用品など必要なものを準備する。
- 強風で樹木の枝が折れて電線を断線しないよう庭木の枝などは、適当な高さに伐採する。



②台風が接近したら

- テレビやラジオの台風情報に注意する。
- 外出や畑の見回り、脚立を使つての作業などはしない。(強風による転倒や飛散物によるケガの恐れ。)
- 危険を感じたり、役場や消防からの勧告や指示があった場合に備えて、避難できるよう準備する。
- 高潮が危険なため海岸付近には近づかない。

③台風が去ったら

- 周囲に自分の所有物が飛散していないか確認し、あれば回収する。
- 断線した電線に絶対にさわらない。
- 浸水の被害にあつたら家の中の風通しを良くして乾燥させ、消毒を念入りに行う。
- 落ち葉は枯らしてから、もやすごみの日に出す。

【総務課消防・防災係】

TEL : 998-2200

E-mail : soumu@town.yaese.lg.jp